

環境文教委員会 送付25-7

はだしのゲンを小中学校から撤去、または漫画戦争論を小中学校に置くことを  
求める陳情

受付年月日 平成25年10月11日

陳情者

## 陳情書

(趣旨)

私が、この漫画をフィクションとして読むのならば面白い漫画としつつも、学校に置くべきでは無いと陳情したのには、以下の理由があります。

1. 誤った史実
2. 偏った思想
3. 子供の教育上、よろしくない描写、考え方

判断力、知識もある程度整えた人間が進んで学ぶために、読む本であるならばまだしも、学校に自然において置くべき本ではありません。

もし多様な価値観の一つとして、漫画「はだしのゲン」を置くとするならば、漫画「戦争論」(小林よしのり著)も併せて置くようにしないと、それこそ多様な価値観や教育上のバランスが上手く取れません。

漫画「はだしのゲン」では、天皇陛下の侵略戦争、金儲けのための戦争と誤り偏った描写を一方的に押し付けており、これでは、当時の日本が何故、この戦争をしなければならなかったのか、正確な史実が描かれておらず、ただただ戦前の日本は悪かったとしか、わからない。

そこを補佐する形で、日本が何故、戦争をしなければいけなかったのかが肯定的に描かれている漫画「戦争論」も併せて置かないと、価値観や教育上のバランスが取れず、一方的な価値観の作品だけを置くのは、子供を偏った屈折した人間にしてしまう恐れがある。

多様な価値観を尊重する千代田区として、一方的な価値観のものだけを尊重するのは、区民として、いかがなものかと思えます。

日本は、戦後、最悪の災害と言っても過言でない東日本大震災において、世界から称賛されるような行動を日本人は取りました。大災害だから、犯罪をしてもよしという行動を選択しておりません。しかし、漫画「はだしのゲン」では、作品全体を通して世の中が悪いから人の心は荒み、世知辛くなり、犯罪をしても仕方がないという展開になっております。

もし、青少年の教育として、どちらかを選択するのであれば、被災をしても、人々が助け合い、がんばって行こうという教えの方が健全であると思えます。

歴史を学ぶ本懐としましては、過去の教訓を学び、未来に活かす事であると思えます。思考停止とは全く違います。

過去を振り返った時に、あの時、どういう選択をしていけば、より良い今、未来になっていたのか、そういう思索、研究が学問であると思えますし、何より、皇居のお膝元の千代田区において、偏った価値観、誤った歴史認識で、皇室を批判、軽視、侮辱するような作品を千代田区の学校に置くななんて事は、私は区民として大変恥ずかしく感じております。

漫画「はだしのゲン」を千代田区内の学校に常設しておくべきでは無いと、千代田区民として申し上げます。

もし、それでもなお、漫画「はだしのゲン」を置くというのであれば、その理由を開示して頂き、価値観の多様性を重視するのであれば、漫画「戦争論」もおいてもらわないと、価値観の多様性の整合性が取れません。

千代田区内の学校から漫画「はだしのゲン」を撤去、もしくは漫画「戦争論」の設置、何卒、よろしくお願い申し上げます。

追伸：字数制限上、大幅に文をカットしました。字数をカットしていない文章を区長及び教育委員会にも提出しました。ご一読して頂けたら幸いです。

平成25年10月11日

千代田区議会議長 嶋崎 秀彦 様